

問1 需要と供給の関係を示した図において、縦軸を価格、横軸を数量とします。右下がりの需要曲線は変化せず、天候不順によって野菜の供給量が減少した際、市場ではどのような変化が起きると考えられますか。供給曲線の動きと価格の関係を説明したものを選びなさい。（2025年 埼玉県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 供給曲線が左側に移動し、需要曲線との交点（均衡価格）が高くなる | 2. 供給曲線が右側に移動し、需要曲線との交点（均衡価格）が高くなる | 3. 供給曲線が左側に移動し、需要曲線との交点（均衡価格）が低くなる | 4. 需要曲線が右側に移動し、供給曲線との交点（均衡価格）が高くなる |
|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|

問2 為替相場が1ドル=100円から1ドル=125円へと変動した場合、手元にある1万円をドルに交換する際の状況について、正しく説明しているものはどれですか。（2014年 愛媛公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 交換できる額が100ドルから80ドルへと減少し、円安の状態になったといえる。 | 2. 交換できる額が100ドルから125ドルへと増加し、円安の状態になったといえる。 | 3. 交換できる額が100ドルから80ドルへと減少し、円高の状態になったといえる。 | 4. 交換できる額が100ドルから125ドルへと増加し、円高の状態になったといえる。 |
|---|--|---|--|

問3 外国為替相場が1ドル110.1円から141.2円へと推移した状況において、鶏の飼料（工サ）の約87%を海外からの輸入に依存している日本の養鶏業者に与える影響として、最も適切なものはどれですか。（2024年 福井公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 輸入飼料の買い付けに必要な円建ての金額が増加し、生産コストが上昇するため、卵や鶏肉の販売価格を押し上げる要因となる。 | 2. 円の価値が他国の通貨に対して相対的に高まったことで、輸入飼料を以前よりも安く買い付けることが可能になり、経営が安定する。 | 3. 円安によって海外への輸出が有利になるため、国内での飼料の確保が容易になり、結果として日本の食料自給率が大幅に向上する。 | 4. 為替相場が変動しても、輸入される原材料の価格は国際価格で固定されているため、国内の物価や生産コストに影響を与えることはない。 |
|---|---|--|---|

問4 日本、イギリス、インド、ブラジルの4か国の経済と通信インフラの統計を比較した際、日本の特徴として、人口当たりの移動通信回線数がこの4か国の中で最も多いことが挙げられます。一方、インドの経済指標と通信普及率に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2026年 大阪公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 膨大な人口を背景に国民総所得（GNI）の総額は大きいですが、一人当たりの国民総所得で見ると4か国の中で最も低い数値となっている。 | 2. 国民総所得（GNI）の総額が4か国の中で最も低いため、人口当たりの移動通信回線数も他の3か国に比べて極めて少ない。 | 3. 経済成長が著しく一人当たりの国民総所得が日本を上回っているため、モバイル回線の普及率も4か国の中で最大である。 | 4. データ通信量が4か国の中で最も多いことから、一人当たりの国民総所得もイギリスや日本と並ぶ高い水準に達している。 |
|---|--|--|--|

問5 売り場面積が約1,100平方メートル、商品数が約8,000種類にのぼる大規模な小売店において、主婦や家族連れなどの多様なニーズに応えるために、生鮮食品を数多く取りそろえる経営戦略がとられています。このような店舗が、商品の鮮度を維持しつつ、経営上の経費を低く抑えるために取り入れている手法として最も適切なものはどれですか。（2016年 岩手県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------|----------------------------|-----------------------------|---------------------------------|
| 1. 卸売業者を介さずに、生産者から直接仕入れる | 2. 販売する商品を調理済みの食品（惣菜）に限定する | 3. 従業員数を最小限に抑えるため、接客を一切行わない | 4. 流通コストをかけるために、あえて遠方の卸売業者を利用する |
|--------------------------|----------------------------|-----------------------------|---------------------------------|

問6 生産者が作った農産物が、卸売業者や小売業者などの段階を経て、最終的に消費者の手元に届くまでの社会的な仕組みを何とよいか、最も適切なものを選びなさい。（2016年 滋賀公立入試 類似）

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 資本 | 2. 流通 | 3. 配当 | 4. 開発 |
|-------|-------|-------|-------|

問7 為替レートが1ユーロ=123円から133円へと変動し、他国の通貨に対して円の価値が下がる現象が起きた際、日本の輸出産業に与える影響として最も適切な説明はどれですか。（2020年 熊本県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 円安となり、海外市場における日本製品の価格競争力が高まるため、輸出に有利にはたらく。 | 2. 円高となり、海外での日本製品の販売価格が上昇するため、輸出に不利にはたらく。 | 3. 円安となり、海外から輸入する原材料の価格が下がるため、輸出製品の製造コストが抑制される。 | 4. 円高となり、日本円の国際的な信頼が向上するため、海外への輸出量が大幅に増加する。 |
|---|---|---|---|

問8 好況時における「生産・所得・支出」の循環に関する記述として、因果関係が正しいものはどれですか。（2016年 岩手県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 生産活動の活発化によって家計の所得が増え、消費支出が拡大することで、さらなる雇用の創出と失業者の減少につながる。 | 2. 所得が減少することによって家計が貯蓄を増やすため、企業の生産活動は縮小し、失業者が増加する。 | 3. 賃金の下落によって企業の利益が一時的に増加し、それによって設備投資が抑制され、失業者の減少が止まる。 | 4. 政府が通貨の流通量を極端に制限するため、企業の投資意欲が減退し、結果として生産活動が停滞する。 |
|---|---|---|--|

答え合わせ・解説

- 問1** **答え 1**
供給曲線が左側に移動し、需要曲線との交点（均衡価格）が高くなる
- 天候不順による生産量の減少は、同じ価格帯であっても提供できる商品の量が減ることを意味するため、供給曲線は左側に移動（左シフト）します。供給曲線が左に動くと、右下がりの需要曲線との交点は、移動前よりも「数量が少なく、価格が高い」位置に移動します。これにより、市場における均衡価格の上昇が引き起こされます。需要曲線の移動ではなく、供給側の要因による変化であることを理解することが重要です。
- 問2** **答え 1**
交換できる額が100ドルから80ドルへと減少し、円安の状態になったといえる。
- 1ドルを交換するために必要な円の額が100円から125円に増えることは、他国の通貨（ドル）に対して日本円の価値が相対的に低くなったことを意味するため「円安」と呼びます。計算上、 $10,000 \text{円} \div 100 \text{円} = 100 \text{ドル}$ だったものが、 $10,000 \text{円} \div 125 \text{円} = 80 \text{ドル}$ となるため、同じ円貨で手に入れられる外貨の量は減少します。
- 問3** **答え 1**
輸入飼料の買い付けに必要な円建ての金額が増加し、生産コストが上昇するため、卵や鶏肉の販売価格を押し上げる要因となる。
- 1ドルを交換するために必要な円が110.1円から141.2円に増えることは、円の価値が下がる「円安」を意味します。日本の養鶏業のように飼料の大部分（約87%）を輸入に頼っている場合、円安が進むと海外から飼料を買い付ける際のコストが直接的に上昇します。この輸入コストの増大は、最終的に卵や肉といった製品価格に転嫁され、国内の物価を上昇させる原因となります。
- 問4** **答え 1**
膨大な人口を背景に国民総所得（GNI）の総額は大きいですが、一人当たりの国民総所得で見ると4か国の中で最も低い数値となっている。
- インドは世界最大級の人口を抱えているため、国全体の経済規模を示す国民総所得（GNI）の総額は大きくなります。しかし、これを人口で割った「一人当たりの国民総所得」で見ると、日本やイギリスなどの成熟した経済国に比べて低くなるのが特徴です。また、人口当たりの通信回線の普及率は、一般的に一人当たりの所得が高い国でより高くなる傾向があります。
- 問5** **答え 1**
卸売業者を介さずに、生産者から直接仕入れる
- 大規模小売店では、消費者の多様なニーズに応えるために膨大な種類の商品を取り扱う必要があります。その際、生産者から直接仕入れを行うことで、卸売業者を通す際の間間コストを削減でき、販売価格を抑えたり利益を確保したりすることが可能になります。これにより「豊富な品揃え」と「経費の削減」を両立させています。
- 問6** **答え 2**
流通
- 生産と消費を結びつける一連の流れを「流通」と呼びます。この仕組みがあることで、消費者は各地で生産された商品を、身近な店舗で必要な時に購入することが可能になります。卸売業者は商品の集荷と分配を、小売業者は消費者への直接販売を担当しています。
- 問7** **答え 1**
円安となり、海外市場における日本製品の価格競争力が高まるため、輸出に有利にはたらく。
- 1ユーロを123円で交換できていた状態から133円払わなければ交換できない状態になることは、円の価値が相対的に下がる「円安」を意味します。円安になると、日本の輸出企業は海外での販売価格を外貨建てで安く設定しても、円に換算した際の受け取り額を維持できるため、価格競争力が向上して輸出に有利な状況となります。一方で、輸入に関しては海外製品や原材料の価格が割高になるため、不利にはたらくます。
- 問8** **答え 1**
生産活動の活発化によって家計の所得が増え、消費支出が拡大することで、さらなる雇用の創出と失業者の減少につながる。
- 景気が上向くと、企業の生産拡大に伴い労働者の賃金が増えたり、新規雇用が増えたりします。これにより家計全体の所得が増加し、それが支出（消費）の拡大を招いてさらに企業の売上を伸ばすという、好循環が形成されます。この過程で労働需要が高まるため、失業者は減少する傾向にあります。